



今回は、薬局で使用している用語についてのお話です。

■一包化とは

例えば、服用する薬が3種類あるとします。

	朝食後	昼食後	夕食後
薬A			
薬B			
薬C			
	↓	↓	↓
	3種類	1種類	2種類

通常は、1日の服用回数別に(例えば、1日3回毎食後、1日1回朝食後など)分けて薬ABCをお渡します。

※下剤やワーファリンなど服用量が変わる可能性がある場合・・・

別包(他の薬剤と分包紙を別にする)でお渡す場合があります。

朝食後(3種類)・昼食後(1種類)・夕食後(2種類)と服用時間毎に分包機で1袋にまとめることを、一包化といいます。

■ヒート・PTPとは？

PTP: PTP包装 (press through pack) →

錠剤やカプセルなどを押し出すタイプの包装のことです。
現在、錠剤のほとんどがPTP包装となっています。

ヒート: SP包装 (strip package) →



アルミ箔やセロファンに低密度ポリエチレンなどの熱可塑性高分子フィルムを重ねたラミネートフィルムで作られたヒートシール型の包装形態のことです。



お薬を受け取った際、薬袋やお薬説明書などに書かれた用語でご不明な点がございましたら、お気軽に薬剤師へお尋ねください。

※薬袋: お薬を入れてお渡している紙袋のこと。

※分包紙: 1包化でお渡す場合におくすりが入っているセロファン紙のこと。